

### D-01 絵言葉で話そう

講師/則武輝彦 (ノリタケテルヒコ)  
 コース/芸術学部 芸術学科 デザイン領域 ヴィジュアルデザイン  
 コース 准教授  
 科目/デザイン実技、視覚デザイン論Ⅰ 他  
 可能日/要相談  
 形式/実技・ワークショップ

**【講義内容】**  
 普段私たちは、当たり前のように文字や言葉を使いコミュニケーションをしますが、突然その文字や言葉がなくなったら、どのようなコミュニケーションが生まれるのでしょうか。みなさんには、文字や言葉を使わず絵文字で会話をしてもらいます。その体験から言葉や文字のなりたちについて考えてみましょう。



- 必要機器/プロジェクター、スクリーン、ホワイトボード
- 受講者に事前に準備していただきたい内容/特になし
- 受講される方にひとこと/3-4人のグループを作り、ゲーム形式で遊びながら学べます。

### D-02 見ることの不思議

講師/則武輝彦 (ノリタケテルヒコ)  
 コース/芸術学部 芸術学科 デザイン領域 ヴィジュアルデザイン  
 コース 准教授  
 科目/デザイン実技、視覚デザイン論Ⅰ 他  
 可能日/要相談  
 形式/実技・ワークショップ

**【講義内容】**  
 身近なものや身体を活用して、短時間でのクロッキーや線描きによるドローイングのワークショップを45分~90分程度行います。また時間によってはドローイングに関する事前の講義も可能です。

- 必要機器/プロジェクター、スクリーン
- 受講者に事前に準備していただきたい内容/特になし
- 受講される方にひとこと/視覚効果をデザイナーがどのように利用しているのか実例とともに解説します。

### D-03 ボールペンで細密画を制作する

講師/佐久間友香 (サクマユウカ)  
 コース/芸術学部 芸術学科 デザイン領域 イラストレーションコース  
 講師  
 科目/デザイン実技、イラストレーション 他  
 可能日/要相談  
 形式/実技・ワークショップ

**【講義内容】**  
 目で見たものを出来るだけ正確に克明にあらわす技術はイラストレーションの基礎となる技術です。普段何気なく見ているモチーフをより深く観察することによって今まで見えてこなかった要素に気づくことができます。発見したことをすべてをどんどん描いていきましょう。



- 必要機器/作業ができるスペース
- 受講者に事前に準備していただきたい内容/ゲルインクのボールペン、画用紙またはケント紙
- 受講される方にひとこと/モチーフの目に見えるすべての情報を描き込んでみましょう。

### D-04 植物を抽象化する

講師/佐久間友香 (サクマユウカ)  
 コース/芸術学部 芸術学科 デザイン領域 イラストレーションコース  
 講師  
 科目/デザイン実技、イラストレーション 他  
 可能日/要相談  
 形式/実技・ワークショップ

**【講義内容】**  
 植物というモチーフを通じて、イラストレーションの基礎となる造形、構造、質感への理解を深めます。

- 必要機器/作業ができるスペース
- 受講者に事前に準備していただきたい内容/デッサン道具一式、F8程度のスケッチブック、植物を挿す花器
- 受講される方にひとこと/自分が惹かれる植物を選んでみてください。

### D-05 2枚の写真で表現するインタラクティブな人物写真をつくってみよう

講師/竹内創 (タケウチハジメ)  
 コース/芸術学部 芸術学科 デザイン領域 先端メディア表現コース 教授  
 科目/デザイン実技、デザイン概論、映像演習、デザイン実技Ⅲ、  
 デザイン実技Ⅳ、デザイン実技Ⅱ-4、デザイン実技Ⅰ (F1)  
 可能日/水曜日  
 形式/実技・ワークショップ

**【講義内容】**  
 自分自身をモチーフにセルフポートレート写真を撮影し、受け手が楽しめるインタラクティブなコンテンツを制作します。

- 必要機器/i Pad、プロジェクターもしくは大型モニター (要相談)
- 受講者に事前に準備していただきたい内容/筆記用具
- 受講される方にひとこと/受け手の立場から、発信する立場で表現することを考えてみましょう。



### D-06 写真を作品にする

講師/櫃田珠実 (ヒツダタマミ)  
 コース/メディアコミュニケーションデザインコース 教授  
 科目/デザイン実技他 (学部)、現代芸術とメディア、  
 コミュニケーションデザイン&アート演習 (大学院) 他  
 可能日/月曜日、水曜日  
 形式/講義・実技

**【講義内容】**  
 スマートフォンの普及により、写真をインターネット上にアップする機会が増え、身近すぎるメディアとなった写真ですが、美術としての写真作品に美術館などで出会う機会も多くなりました。アート写真作品の理解を深め、自分たちでも撮影して作品を作ってみましょう。

- 必要機器/プロジェクターもしくは大型モニター、スマートフォンなどデジタル写真を撮影できるカメラ (要相談)
- 受講者に事前に準備していただきたい内容/アートやデザインに興味をもって美術館などに行ってみてください。
- 受講される方にひとこと/見て考えてアートを楽しもう。



### D-07 アート&デザインを知る!仕事にする!



講師/櫃田 珠実 (ヒツダタマミ)

コース/メディアコミュニケーションデザインコース 教授  
 科目/デザイン実技他(学部)、現代芸術とメディア、  
 コミュニケーションデザイン&アート演習(大学院)他

可能日/月曜日、水曜日  
 形式/講義

#### 【講義内容】

アートやデザインに関する理解を深めく美術が好き>を仕事にできるのか考えるきっかけになるように、アーティストやデザイナーの活躍する分野や作品を紹介します。芸術大学で学べることなど具体的にわかりやすくお話しします。

■必要機器/プロジェクターもしくは大型モニター ■受講者に事前に準備していただきたい内容/特になし  
 ■受講される方にひとこと/芸術大学のカリキュラム内容や卒業後の就職先、プロの仕事についてなど、具体的なご質問がありましたら、事前にお伝えください。

### D-08 ストップモーション・アニメーションを作ろう



講師/臼井 拓朗 (ウスイ タクロウ)

コース/芸術学部 芸術学科 デザイン領域 ファンデーション/メディア  
 コミュニケーションデザインコース 講師

科目/絵画、デザイン実技Ⅰ、デザイン実技Ⅲ-1 (MC/MCD、デザイン実技Ⅲ-4 (MC/MCD、デザイン実技Ⅳ (MC/MCD、卒業研究 (デザイン)MCD

可能日/月・水曜日  
 形式/実技・ワークショップ

#### 【講義内容】

映像表現の基礎から編集までをグループで話し合いながら体験し、日頃から目にしていく映像の仕組みを理解します。15分ほどの事前講義を行った上で制作することも可能です。

■必要機器/プロジェクタ用スクリーン ■受講者に事前に準備していただきたい内容/筆記用具  
 ■受講される方にひとこと/表現することを考えるきっかけになればと思います。

### D-09 リアルとは何か



講師/臼井 拓朗 (ウスイ タクロウ)

コース/芸術学部 芸術学科 デザイン領域 ファンデーション/メディア  
 コミュニケーションデザインコース 講師

科目/絵画、デザイン実技Ⅰ、デザイン実技Ⅲ-1 (MC/MCD、デザイン実技Ⅲ-4 (MC/MCD、デザイン実技Ⅳ (MC/MCD、卒業研究 (デザイン)MCD

可能日/月・水曜日  
 形式/実技・ワークショップ

#### 【講義内容】

VR(ヴァーチャルリアリティ)空間での体験を通して、絵を描くこと、表現することについて考えます。設置準備に15分程度、また障害物のない4m×4mほどの空間が必要となります。

■必要機器/プロジェクタ用スクリーン、延長コード ■受講者に事前に準備していただきたい内容/筆記用具  
 ■受講される方にひとこと/表現することを考えるきっかけとなればと思います。

### D-10 デザインの魅力



講師/萩原 周 (ハギハラ マコト)

コース/芸術学部 芸術学科 デザイン領域 ライフスタイルデザイン  
 コース 教授

科目/デザイン実技Ⅱ、デザイン演習Ⅱ、卒業研究

可能日/月、土曜日

形式/講義

#### 【講義内容】

デザインについての理解を深めるための90分程度の講義。デザインとアートの差異や、近現代までのデザインが歩んだ歴史的な経緯を画像を紹介しながらわかりやすく解説します。

■必要機器/液晶プロジェクター、投影用スクリーン ■受講者に事前に準備していただきたい内容/特になし  
 ■受講される方にひとこと/やや一般向けの内容ですが、デザインの辿ってきた大凡の道のりが優しく理解できるようにお話しします。

### D-11 デザインの「デ」の字



講師/萩原 周 (ハギハラ マコト)

コース/芸術学部 芸術学科 デザイン領域 ライフスタイルデザイン  
 コース 教授

科目/デザイン実技Ⅱ、デザイン演習Ⅱ、卒業研究

可能日/月、土曜日

形式/講義

#### 【講義内容】

デザインの基本的な考え方(視点)を知る上でもっとも大切なことの一つとなる「多角的なものの方角」について、身近な道具の中からカッターナイフを例にとって解説します。

■必要機器/液晶プロジェクター、投影用スクリーン ■受講者に事前に準備していただきたい内容/特になし  
 ■受講される方にひとこと/デザインされたモノが、どんなに小さくてもその色やかたち、重さ、材質などが全て意図されてつくられていることがわかったら、見慣れた世界がまた新鮮に映るはずですよ。

### D-12 デザインってなんだろう



講師/水内 智英 (ミズウチ トモヒデ)

コース/芸術学部 芸術学科 デザイン領域 ライフスタイルデザイン  
 コース 准教授

科目/デザイン理論、ソーシャルデザイン論、デザイン実技、  
 デザインプロセス演習

可能日/希望に応じて調整

形式/講義

#### 【講義内容】

「デザイン」という言葉を日常生活でもよく耳にするようになりました。しかし、その意味するところは様々です。デザインとは何か?デザイナーとは誰のことなのか?デザインが持つ意味や役割を、少しだけ深く考えてみませんか。

■必要機器/プロジェクター ■受講者に事前に準備していただきたい内容/特になし  
 ■受講される方にひとこと/デザインをキーワードに、もう一度、私たちの暮らしや社会の在りかたについて考えていきましょう。

### D-13 未来を共に創るためのデザイン



講師/水内 智英 (ミズウチ トモヒデ)  
 コース/芸術学部 芸術学科 デザイン領域 ライフスタイルデザイン  
 コース 准教授  
 科目/デザイン理論、ソーシャルデザイン論、デザイン実技、  
 デザインプロセス演習  
 可能日/希望に応じて調整  
 形式/講義

#### 【講義内容】

複雑で困難な社会課題を抱える現代において、多様なステイクホルダーと共に、創造的にそれらに挑戦し、未来をつくり上げていく試みも聞かれるようになってきました。これからの未来の描き方を一緒に考えてみませんか。

■必要機器/プロジェクター ■受講者に事前に準備していただきたい内容/特になし  
 ■受講される方にひとこと/デザインをキーワードに、もう一度、私たちの暮らしや社会の在りかたについて考えていきましょう。

### D-14 インテリアデザイン



講師/駒井 貞治 (コマイ サダハル)  
 コース/芸術学部 芸術学科 デザイン領域 スペースデザインコース  
 教授 デザイン領域主任  
 科目/デザイン実技(建築、インテリア) 他  
 可能日/要相談  
 形式/講義

#### 【講義内容】

インテリアデザインの基礎である、人が集まってそこでいろいろなことが起こるシーンを想像するというところを、簡単な模型を作りながら、アイデアの出し方、広げていき方、表現の仕方を学んでいきます。

■必要機器/プロジェクター、模型などの制作環境 ■受講者に事前に準備していただきたい内容/自分の好きなお店や場所、そこで起こる事について想像を膨らませておいて下さい。 ■受講される方にひとこと/普段自分たちが生活している事全てが対象です。より豊かに、楽しく生活するとは?というような事を一緒に考えてみましょう。

### D-15 デザインプロセス



講師/駒井 貞治 (コマイ サダハル)  
 コース/芸術学部 芸術学科 デザイン領域 スペースデザインコース  
 教授 デザイン領域主任  
 科目/デザイン実技(建築、インテリア) 他  
 可能日/要相談  
 形式/講義

#### 【講義内容】

身の回りのものを、デザインするには、発明的な発想やひらめきが必要です。プロセスを踏んで過去の事例を参考に発想し、展開し、検討を重ねていく事でそれらを導きだしていく手法を学びます。

■必要機器/プロジェクター ■受講者に事前に準備していただきたい内容/自分の身の回りのものについて、お気に入りのいいことや、ちょっと困っている事について、いつもより深く観察してみてください。 ■受講される方にひとこと/普段自分たちが生活している事全てが対象です。より豊かに、楽しく生活するとは?というような事を一緒に考えてみましょう。

### D-16 プロダクトデザイン



講師/後藤 規文 (ゴトウ ノリフミ)  
 コース/芸術学部 芸術学科 デザイン領域  
 インダストリアル&セラミックデザインコース 教授  
 科目/プロダクトデザイン、デザインプランニング  
 可能日/月、金曜日  
 形式/講義

#### 【講義内容】

プロダクトデザイナーの役割について、具体的な事例を交えながら紹介し、ものづくりにデザインが必要とされる理由を解説しながら、プロダクトデザインの基礎について学びます。

■必要機器/液晶プロジェクター  
 ■受講者に事前に準備していただきたい内容/特になし  
 ■受講される方にひとこと/「カッコいい形」だけがデザインではありません。

### D-17 カーデザイン



講師/片岡 祐司 (カタオカ コウジ)  
 コース/芸術学部 芸術学科 デザイン領域 カーデザインコース 教授  
 科目/デザイン実技 他  
 可能日/月曜日  
 形式/講義

#### 【講義内容】

カーデザイナーの仕事とはどのようなものなのか。実際の現場の様子を交え、その内容を解説します。併せてカーデザイナーを目指す学生へのアドバイスを行います。

■必要機器/特になし  
 ■受講者に事前に準備していただきたい内容/特になし  
 ■受講される方にひとこと/自動車はこれから大きく変わる業界で、とても面白く楽しい仕事があります。

### D-18 カーデザインモデル体験

講師/片岡 祐司 (カタオカ コウジ)  
 コース/芸術学部 芸術学科 デザイン領域 カーデザインコース 教授  
 科目/デザイン実技 他  
 可能日/月曜日  
 形式/実技・ワークショップ

#### 【講義内容】

カーデザインを開発するときには必ずクレイという粘土で1/1の大きさのモデルを制作します。これは今もモデラーという特別な技術者の仕事です。この仕事を体験する実技です。

■必要機器/作業のできる服装  
 ■受講者に事前に準備していただきたい内容/特になし  
 ■受講される方にひとこと/立体造形やカーデザインに興味のある学生さん集まってください。

### D-19 二輪車デザインの歴史と使われ方の現実



講師/高次 信也 (タカツギノブヤ)  
 コース/芸術学部 芸術学科 デザイン領域 カーデザインコース 教授  
 科目/カーデザイン・理論と計画、立体表現、製品企画論、  
 意匠計画演習 他  
 可能日/月曜日、火曜日、土曜日 (要調整)  
 形式/講義

#### 【講義内容】

自転車から発展したモーターサイクルデザインの歴史と、地域の文化の相違に根差した使用実態とデザインの多様性について、世界各地の具体的な事例を挙げながらカタチと使われ方の関係について考察する。

- 必要機器/パワーポイントを使用。プロジェクター、スクリーンか液晶ディスプレイ
- 受講者に事前に準備していただきたい内容/自分の身の回りで使われている二輪車について観察して見ましょう。
- 受講される方にひとこと/世界各地では日本では見られない様々な二輪車が使われています。

### D-20 平面から立体へ



講師/米山 和子 (ヨネヤマ ヨリコ)  
 コース/芸術学部 芸術学科 デザイン領域 メタル&ジュエリーデザイン  
 コース 教授  
 科目/デザイン実技 他  
 可能日/月曜日  
 形式/実技、ワークショップ

#### 【講義内容】

基礎造形における視覚的効果を得る方法 (構成の概念)は3次元のものを作る時にも応用できます。普段身近にある紙を切る、折る、曲げる事で立体を作り、空間を意識してバランス感覚のコツを体感しましょう。

- 必要機器/プロジェクター、紙工作等の作業環境
- 受講者に事前に準備していただきたい内容/ハサミ、カッター、カッターマット、A4コピー用紙5~10枚
- 受講される方にひとこと/立体や空間のセンスは誰でも伸ばす事が出来ます。

### D-21 メダルアートの世界



講師/瀬田 哲司 (セタ テツジ)  
 コース/芸術学部 芸術学科 デザイン領域 メタル&ジュエリーコース  
 准教授  
 科目/鑄造初級、金属技法材料  
 可能日/月曜日  
 形式/実物と資料による講義(持参するメダルは触っても良い)

#### 【講義内容】

欧州の伝統芸術である「メダル」は手のひらサイズの立体造形として「メダルアート」に発展しています。メダルアートの国際的な賞を受賞し海外作家との交流も豊富な講師がメダルアートの最前線を紹介します。

- 必要機器/特になし
- 受講者に事前に準備していただきたい内容/特になし
- 受講される方にひとこと/特になし

### D-22 テキスタイルデザイン、ハンドプリント



講師/扇 千花 (オオギチカ)  
 コース/芸術学部 芸術学科 デザイン領域 テキスタイルデザインコース  
 教授  
 科目/デザイン実技 他  
 可能日/水曜日  
 形式/講義

#### 【講義内容】

プリントは、絵柄を繰り返すことによって、布に模様を付ける方法です。模様のリピートをポテトプリントで学びます。

- 必要機器/机、流し ■受講者に事前に準備していただきたい内容/筆記道具、彫刻刀、絵の具、好きな布90cm×30cm
- 受講される方にひとこと/テキスタイルデザインは布のデザインです。布は生活の中でなくてはならないものです。大きな布を部屋に掛けると瞬時に空間の印象が変わり、柔らかな布を身につけると安らかな気持ちになれるというように、テキスタイルは、人の心に働きかけるデザインです。

### D-23 ムードボードをつくる



講師/貝塚 惇観 (カイツカアツミ)  
 コース/芸術学部 芸術学科 デザイン領域 テキスタイルデザインコース  
 講師  
 科目/デザイン実技、基礎演習A、他  
 可能日/月曜日、木曜日  
 形式/実技、ワークショップ

#### 【講義内容】

ムードボードとは、自分の頭の中のイメージを他者に伝えるために、ファッションデザインの現場で頻繁に用いられる手法です。自分の中のイメージをアウトプットし、他の人と共有することが出来ます。

- 必要機器/大型液晶モニター又はスクリーン、紙工作用のハサミとのり ■受講者に事前に準備していただきたい内容/雑誌の切り抜きや写真、布や小物など、自分が好きだと思った画像やアイテムを集めてきてください。
- 受講される方にひとこと/ムードボードをつくることで、自分が一体何に興味があるのかを一緒に発見していきましょう。

### D-24 フランス語の絵本の翻訳



講師/西村 和泉 (ニシムライヅミ)  
 コース/芸術学部 芸術学科 デザイン領域 文芸・ライティングコース  
 准教授  
 科目/フランス語、文芸実技  
 可能日/火曜日  
 形式/実技・ワークショップ

#### 【講義内容】

フランス語で書かれた未邦訳絵本を翻訳する体験をします。講師が提示する直訳を、対象の絵本が持つイメージや想定される読者に合わせてもっとも適切と思われる表現に直して、フランスの文化に触れてみましょう。

- 必要機器/プロジェクター、DVD プレーヤー、スクリーン ■受講者に事前に準備していただきたい内容/自宅にある「外国語から翻訳された絵本」を表現の工夫に注目しながら読み直してきてください。
- 受講される方にひとこと/異文化の面白さを知ると共に、絵本で使われる日本語の奥深さを味わいましょう。

### D-25 魅力的なキャラクターを考えて、ショートストーリーを創作しよう



講師/西村 和泉 (ニシムライヅミ)  
 コース/芸術学部 芸術学科 デザイン領域 文芸・ライティングコース 准教授  
 科目/フランス語、文芸実技  
 可能日/火曜日  
 形式/実技・ワークショップ

#### 【講義内容】

国内外の小説や映画の登場人物の特徴を分析した上で、各受講生がワークシートを使って魅力的なキャラクターを考えます。そのキャラクターの関係性を中心にしたショートストーリーを創作しましょう。

■必要機器/プロジェクター、DVD プレーヤー、スクリーン ■受講者に事前に準備していただきたい内容/自分が好きな物語に登場するキャラクターを紹介してください (一人3分程度プレゼンテーションをお願いします)。  
 ■受講される方にひとこと/自由な発想でキャラクターを考えて、物語を作りましょう。

### D-26 絵画へラブレター



講師/村田 仁 (ムラタ ジン)  
 コース/芸術学部 芸術学科 デザイン領域 文芸・ライティングコース 准教授  
 科目/デザイン基礎演習E、文芸実技1-I (小説創作) 絵本、児童文学制作、現代詩制作  
 可能日/(前期) 水・木・金曜日 (後期) 火・水・木曜日  
 形式/実技・ワークショップ

#### 【講義内容】

好きな絵画作品に向けて、ラブレターとしての詩を綴るワークショップ。絵画から受ける「色」「物語」「私との関係」などを書き出し、詩作を行う。参加者が絵画に向けて詩を読む朗読会を最後に行ない、完成とします。

■必要機器/プロジェクター、パソコン、スキャナー、デジカメ、マイク、音響機器、便箋  
 ■受講者に事前に準備していただきたい内容/好きな絵画作品の画集、筆記具 ■受講される方にひとこと/画家ではなく、絵画へ綴るかたちで、知識ではなく感覚を言葉にしていく創造の楽しさを目的としたワークショップです。

### D-27 図書館の森で迷子を楽しむ



講師/村田 仁 (ムラタ ジン)  
 コース/芸術学部 芸術学科 デザイン領域 文芸・ライティングコース 准教授  
 科目/デザイン基礎演習E、文芸実技1-I (小説創作) 絵本、児童文学制作、現代詩制作  
 可能日/(前期) 水・木・金曜日 (後期) 火・水・木曜日  
 形式/実技・ワークショップ

#### 【講義内容】

学校の図書館を舞台に行う詩作ワークショップ。ルーレットで当たった ジャンルの本棚に行くなど、普段は出会うことのない本に会う機会をつくり、言葉を引用し詩作します。最後は参加者が本を紹介しあい、詩を読みます。

■必要機器/マイク、音響機器 ■受講者に事前に準備していただきたい内容/特になし  
 ■受講される方にひとこと/検索で情報にすぐたどり着くことができる現代ですが、迷子を経ることでしか得ることのできないものがあるのではないのでしょうか。図書館は迷うことを許してくれる豊かさをもっているはず。詩作にある豊かさも、それと重なるものです。